

英国の交通、地域・地方計画体系における気候変動考慮と我が国への示唆

○名城大学大学院
名城大学

学生会員 吉田 知樹
正会員 鈴木 温

1. はじめに

近年、国際社会が早急に取り組むべき課題の1つとなっている気候変動問題に対し、欧州を中心とした諸外国は多様な政策とともに、法制度の整備を進めてきている。

本研究では、欧州の中でも気候変動対策でリーダーシップを最も発揮していると評価されている英国に着目し、英国が交通、地域・地方計画において、気候変動をどのように考慮し、温室効果ガスをどのようなメカニズムで削減しようとしているのか明らかにすることを目的とする。

2. 英国の交通地域計画体系と気候変動の考慮

2.1 英国における気候変動関連政策の動向

英国では2006年10月に、Nicholas Stern氏によって気候変動問題の経済影響に関する報告書 *Stern Review*¹⁾が公表され、気候変動に対して全く対策をとらないことによる経済的損失は甚大であることが指摘された。また、2006年12月に公表された *Eddington Transport Study*²⁾では気候変動への取り組みを考慮することは長期的な交通戦略のために重要であると述べている。

2008年11月に気候変動対策を目的とした世界初の基本法である気候変動法 *Climate Change Act 2008*³⁾が成立した。2020年までに1990年比で34%以上温室効果ガスを削減し、2050年までに全ての温室効果ガスの排出量を1990年比で80%以上削減することを法律で定めた。気候変動法によって、カーボンバジェット(2050年の長期目標達成に向けた道筋を示すために、5年毎の3期間の温室効果ガスの排出量を設定)が設定された。カーボンバジェットは各省庁に割り当てられ、分野別の目標値が定められている。カーボンバジェットの目標値を達成するため、英国政府は低炭素

Keywords : 気候変動, 交通計画, 地域・地方計画, 計画体系

(〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口 1-501
電話 052-832-1151)

経済への移行計画 *The UK Low Carbon Transition Plan*⁴⁾を2009年7月に発表し、各部門の2020年までの計画を明確にした。2010年3月31日に発表された *Climate Change Taking Action*⁵⁾によって、カーボンバジェットの各部門(発電, 職場の熱環境, 産業プロセス, 運輸, 家庭とコミュニティ, 公共, 農林業と土地管理, 廃棄物の計8部門)の道筋が発表され、交通部門には21%の削減が割り当てられた。

交通省は21%削減の達成のために、2009年7月に *Low Carbon Transport: A Greener Future*⁶⁾を公表し、エネルギー効率の改良, 低炭素な交通行動の促進, 市場メカニズムを使用した低炭素交通への転換の促進など運輸部門が実行すべきことを示した。

2.2 Region レベルにおける気候変動政策

以上に述べたように国家レベルでは気候変動に関する政策文書が次々に発表されている。一方、Region レベルでは、2009年12月に成立した *Local Democracy Economic Development and Construction Act 2009*⁷⁾により、交通、地域空間戦略が、経済開発と統合した地域戦略 *Regional Strategy* (以下RS)へと改正された。RSには、気候変動の緩和と適応に貢献するための政策を含めることを上記の法律で定められている。これによりRegionレベルの政策には気候変動を考慮しなければならない。

2.3 Sub-Region, Local レベルにおける気候変動政策

Region レベルでは以上のような気候変動考慮がなされているが、Sub-Region, Local レベルでは *Climate Change Partnership* や *Climate Change Unit* などの気候変動に関わる組織が中心となり実施計画が作られている。*Climate Change Action Plan* や *Climate Change Strategies* などの政策には、国の目指すべき目標とは異なる地方独自の削減目標を置いているものも存在する。国の目標値とSub-Region, Local レベルの目標値の整合性を図ることが課題として指摘されている。

2.4 英国の課題

2007年に英国政府の政策の方針である計画政策声

明書 Planning Policy Statement (以下 PPS) の気候変動に関する補完文書である Planning and Climate Change - Supplement to Planning Policy Statement 1 (以下 PPS1) が公表された。2010 年 3 月に, PPS1 に関する内容を検討したレポート⁸⁾が公表され, 財政によるインセンティブや気候変動問題に対する重み付け, 気候変動問題の更なる理解など 11 の課題を明らかにした。また Consultation on a Planning Policy Statement: Planning for a Low Carbon Future in a Changing Climate ではこれらの課題を受け, PPS1 の改訂に向けた作業が進められている。

3. 英国の交通, 地域・地方計画体系における気候変動対策の特徴と我が国への示唆

3.1 英国の交通, 地域・地方計画体系における気候変動考慮

上記で述べた英国の気候変動に関する動向をまとめると図-1 のようになる。計画体系図の縦軸は計画分野(交通計画, 地域・地方計画, 気候変動計画)に分け, 横軸は計画体系のレベル(国, Region, Sub-Region, Local)を表している。計画体系図の中には, 交通計画, 地域・地方計画に関する政策と気候変動に関連している政策を配置した。図中の矢印は計画体系上のつながりがあるものを示し, 二重枠の計画は法律等を示す。

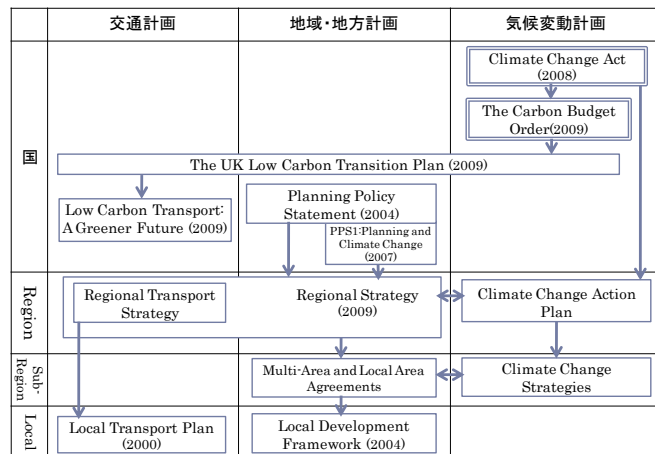


図-1 英国の計画体系

英国のメカニズムの特徴や課題をまとめる。

【特徴】

- ・各部門に削減目標を割り当てることによって, 各省庁への責任を明確にしている
- ・Region, Local レベルで, 関係する複数の分野の関係者が組織を作り, 気候変動を考慮した統合的な計画を作成している。

【課題】

- ・国と地方の削減目標の整合性確保
- ・インセンティブの導入
- ・行政担当者の認識の向上, スキルアップ

3.2 我が国への示唆

我が国でも気候変動問題に対して徐々に取り組みが強化されてきている。主な取り組みとして, 環境的に持続可能な交通(EST), 環境モデル都市, エコまちづくり事業などがあり, 政府などが補助金を給付して事業を促進している。我が国への示唆として,

- ・異なる計画分野間, 計画体系レベル間との整合が図れる仕組みが必要
 - ・法的根拠を持った政策が必要
 - ・国にすべての責任を負わせるのではなく, 地域や地方にも目標達成の責務をもたせるべきである
- などが挙げられる。

4. おわりに

本研究では英国の交通, 地域・地方計画体系において温室効果ガスをどのようなメカニズムで削減しようとしているのか調査を行った。その結果, 英国では明確な削減目標のもと, 法律や白書によって達成に向けた道筋を示し, 国, Region, Sub-Region, Local レベルに気候変動に対して責任を持たせること, 整合を図ることで削減目標の達成を目指していることがわかった。また, 英国に残されている課題も明らかとなった。

今後は, 英国の制度を詳細に調査するとともに, 我が国の制度に合った提案を行うことを課題とする。

【参考文献】

- 1) HM TREASURY : Stern Review on the Economics of Climate Change,2006
- 2) Department for Transport : The Eddington Transport Study,2006
- 3) Office of Public Sector Information : Climate Change Act 2008,2008
- 4) HM Government : The UK Low Carbon Transition Plan,2009
- 5) HM Government : Climate Change Taking Action,2010
- 6) Department for Transport : Low Carbon Transport: A Greener Future,2009
- 7) Office of Public Sector Information : Local Democracy, Economic Development and Construction Act 2009,2009
- 8) Department for Transport : Take up and application of the policies in the planning policy statement on planning and climate change: Final report,2010